

提言第 1 号 中心静脈穿刺合併症に係る死亡の分析

事例6

< 事例概要 >

- ・慢性腎不全で維持透析の患者。心房細動に対し抗凝固薬を服用中。
- ・死因は、ガイドワイヤーでの奇静脈損傷による右胸腔内出血。死亡時画像診断（Ai）有、解剖有。
- ・人工透析のための血管確保目的で、ランドマーク法により右内頸静脈から長期留置型血液透析カテーテルを挿入した。ガイドワイヤーは30cm 挿入したが、抵抗感はなかった。カテーテル留置後、喘鳴出現。カテーテル位置確認のための胸部X 線で心拡大と右胸水を認め、心不全の増悪と判断し除水目的で緊急透析を行った。透析開始と共に体動が激しくなり、透析開始してまもなく心肺停止となり死亡した。